

養護研究部

1 研究主題

心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～主体的に健康づくりに取り組む児童の育成を目指して～

2 研究主題について

これまで養護研究会では、生涯にわたって健康で安全な生活や健全な食生活を送ることができるよう、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行うことができる力を子どもたち一人ひとりに育むことを目指して研究を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもを取り巻く環境は大きく変わり「新しい生活様式」が求められた。また、子どもの貧困、不登校やいじめの問題、ネットトラブル、アレルギー疾患の増加、体力の低下、性の逸脱行動、薬物乱用等、健康問題の多様化のほか、自然災害に対する危機管理や防災教育の必要性も高まっている。今年度は新学習指導要領が実施となり、子どもたちが身に付けるべき資質や能力、学ぶべき内容等、教育課程の全体像を念頭に置き、各教科等の学びを通じて子どもたちが「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を考えながらマネジメントすることが求められている。このように多様な今日的課題に向き合うとき、子どもたちが自立した人間として、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、他者と一緒に生き、課題を解決していく力を育むことが重要である。そこでテーマを「心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」とし、サブテーマを「主体的に健康づくりに取り組む児童の育成を目指して」と設定した。

3 年間活動(事業)報告

月	日	内容	会場	月	日	内容	会場
4	22	養護研究会 総会	書面総会	11	4	企画会	社会福祉センター
5	8	健康教育専門部会	中止		12	2	健康教育専門部会
	15	企画会	中止	3		市一斉授業研究会	下郷小学校
						企画会	花咲研修室
6	3	企画会	中止	1	13	企画会	中止
		健康教育専門部会	中止			15	健康教育専門部会
	12	第1回18区部長会	中止			第2回18区部長会	中止
7	1	企画会	学校保健センター	2	3	県小教研中央研究大会	中止
		健康教育専門部会	社会福祉センター			企画会	中止
8	20	全体研修会	中止	10	10	第二次教育研究大会	R3.9.1に延期
9	2	企画会	社会福祉センター			健康教育専門部会	ZOOM開催
	9	健康教育専門部会	八景小学校				
	30	第一次教育研究大会	中止				
10	7	企画会	社会福祉センター	3	3	健康教育専門部会	ZOOM開催
		健康教育専門部会	八景小学校			企画会	中止

4 研究の成果と課題

(1) 全体研修会

例年であれば、分科会に分かれ、養護教諭による実践提案があり多くの学びにつながる研修会である。体験を伴う提案も多い研修のために紙面での提案では伝わりにくい部分も多く、今年度はコロナウィルス感染症の流行により、開催を見合わせるようになった。次年度以降、開催するためにはどのような方法が良いのか、検討課題である。

(2) 市一斉授業研究会

下郷小学校 授業者： T1 小川名 優貴 教諭 T2 橋本 英子 養護教諭

5年 体育(保健領域)「けがの防止」

今年度は授業を直接参観することが難しいため、録画映像を視聴した。ライブビューイングも検討されたが、多くの養護教諭が集まるリスクも考え、人数を制限しての研究会とした。

授業者からは保健の授業への学習意欲が高く、本時においても切実感をもって学ぶことができたことや、担任と養護教諭がより効果的な打ち合わせをするには、何に重きをおいて打ち合わせを進めるかを明確にすることが大切であると感じたようであった。また、指導主事からも次のような講評をいただくことができた。

- ・保健の授業を総合など他教科と関連したことで学びを活かしていた。今後は保護者、地域、安全組織等との連携へと広げて行ってほしい。
- ・保健教育の推進のために、他教科との関連をもち横断的に学習をつなげることができるとよいが、そのためには、他教科の目標を理解することが大事であり、関連する教科と実施する時期を一緒にするなどカリキュラムを確認することが大切。
- ・養護教諭が今日的課題にいかに関わるか『現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～』に書かれているように、健康課題の早期発見、日常の関わり、職員・家庭との連携などが大切。
- ・児童から引き出す役を担任、違う観点で視野を広げる役を養護教諭が行い、2人の連携がよかった。

担任と連携して、児童の健康課題を自分ごととして解決していけるような授業が展開された。今後は積極的に授業を提供してもらえようバックアップ体制を整えていきたい。

(3) 第二次教育研究大会

磯子区と港北区の研究発表を予定していたが、コロナウィルス感染症の流行により、予定していた会場の人数制限のため開催が難しい状況となった。両区とも数年間にわたり研究を積み重ねており、紙上発表でなく、提案したい、提案を聞きたいということもあり、今年度の発表予定を次年度 9月1日に広い会場で全員が参加できるように予定を変更した。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、研究のために集まるのが難しいことが多かったが、児童のためにも研究の歩みを止めずにできることをやっていく姿勢が問われた年でもあったように思う。活動が制限される中であるが、今までの研究の成果を発表できるように対応をしていきたい。